

# CONTENTS

No.290 2025年2月号 草月指導者連盟機関誌

32 26 25 23 22 21 15 13 12 10 6 4 2

だから、おしゃべりはやめられない 西家元と迎える新年の会2025	第98回「新年のごあいさつ」
勅使河原茜の花	
「立体造形」とは？⑥ 古典、形	
支部活動報告 香川県支部展	
SYCレポート SYC東京1 / SYC北海道1 / SYC福岡	
百花万葉	
学校いけばな	
草月×日本茜プロジェクト	
レビユー プレミアムデモンストレーション「茜の部屋 part 2」 / いけばなインターナショナルフェア2024	
高橋是清翁記念公園ライトアップイベント「夜の公園美術館」	
花に感謝の日 草月最優秀賞ノミネート作品	
インフォメーション 本部教室 / 草月WEST	
カレンダー	



## 【植物の気配】

家元が植物のかたちを浮か上がらせる。

色とりどりの空気をまとって

軽やかに舞う植物たちを魅せるシリーズです。

表紙作品=勅使河原茜

表紙アートディレクション=永井裕明 (N.G.inc.)

表紙デザイン=前田由貴 (N.G.inc.)

印刷=東洋紙業株式会社

制作協力=有限会社デジタルプラネッツ

## 初夏の草月いけばな展「花のメヌエット」開催決定！

【会期】

2025年

6月11日(水)～6月26日(木)

1期：6月11日(水)・12日(木)

2期：6月14日(土)・15日(日)

3期：6月18日(水)・19日(木)

4期：6月21日(土)・22日(日)

5期：6月25日(水)・26日(木)

※2日間・5期制、作品は会期毎で入替。

※いけこみは各会期前日を予定。

【会場】

草月会館 2階談話室 (出品者展示)

監修：勅使河原茜家元

主催：一般財団法人草月会

企画運営：草月会事業部事業課

【出品説明会】

開催いたしません。ご希望の方に「応募要項」をお送りするとともに、草月流ホームページ(メンバーズサイト)にて詳細を掲載します。

【応募要項】

ご希望の方に、郵送、FAX、メール、いずれかの方法にてお送りします。「会員番号・名前・ご希望の送付方法」を事業課までお知らせください。※送付予定日以降は、事業課でも配布しております。草月流ホームページ(メンバーズサイト)にも掲載します。

## 出品者募集

さわやかな季節に開催される初夏の草月いけばな展は、本年も草月会館を舞台に開催いたします。今回は、自由花に加え、この季節にふさわしいテーマのひとつ「水を意識する」を取り入れた作品も募集します。皆さまのご出品を心よりお待ちしております。詳細は応募要項およびホームページで発表いたしますので、お楽しみに！

【応募方法】

①応募要項をご請求ください(2月7日以降順次郵送予定)。

花席をはじめとした詳細は、応募要項及び草月流ホームページ(メンバーズサイト)でもご案内いたします。ご興味ある方はぜひ資料をご請求ください。

②お申込み受付開始

**2月13日(木) 10:00～一斉募集開始**

申込締切：2月25日(火)

※上記日時前にお申込みいただいても受け付けいたしかねます。

※お申込みは**先着順**にて受け付けます。なお、お申込み同着多数の場合は、抽選とさせていただきます。

※郵送の場合は、到着日を同着扱いとし、FAXやメールでのお申込みは到着した順とさせていただきます。

※ご希望の会期・花席が満席の場合、他会期・他花席でのご出品をご案内、またはお断りすることもございますので、予めご了承ください。

※新宿高島屋での展覧会は予定されておりません。

※会期や内容は変わることがあります。また、天災及びその他不可抗力による事由により、草月いけばな展の開催を延期・中止する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

## 特別セミナー「水を意識する」開催！

草月展のテーマに伴い、ワークショップを開催します！

テキスト4にも取り上げられている本テーマを改めて学びましょう。

【日時】2025年4月12日(土) 10:30～16:00 予定 【場所】草月会館 教室

【講師】未定 【受講料】草指連会員：16,000円(税込)、一般(会員外)：18,500円(税込)

※詳細は草月いけばな展応募要項と同時に発表します。※出品者以外の方もご参加いただけます。

お問い合わせ [事業課] TEL: 03-3408-1156 / FAX: 03-3405-4947 / E-mail: kikaku@sogetsu.or.jp

## 勅使河原茜

# 新年のご挨拶

皆さま、明けましておめでとうございます。

今回の「新年の会」は、本当にたくさんの方からお申し込みをいただきました。早々に満員御礼となり、幸先の良いスタートを切ることができました。心から感謝申し上げますとともに、残念ながら草月ホールにお入りいただけなかった大勢の皆さまには、心からお詫びを申し上げます。

2023年から始まりましたこの「新年の会」。今回は「草月優秀賞」に選ばれた21作品のご紹介から幕を開けました。草月優秀賞は、これまでの草月作品賞をリニューアルした新しい賞です。全世界から113ものエントリーがあり、展覧会はもちろんのこと、それ以外にも草月の多様な活動をお知らせいただき、たいへん嬉しく思いました。そのため、選考はとて難しかったのですが、草月の幅の広さ、自由さを改めて感じることができました。「草月最優秀賞」の発表は、3月28日の「花に感謝の日」の式典で行われます。どうぞ楽しみにしてください。

そして、理事・顧問に昇格された皆さま、昨年4級師範、というような気さえする。そういう時代に私たちは生きていくと言えるかもしれません。そんな中でもすると、無力感にとらわれて、家から出なくなってしまうたり、自分には何もできない、もうどうしようもないと、あきらめてしまったりしそうになります。

でも、草月の歴史を振り返ってみてください。勅使河原蒼風は、戦後の焼け野原の中から鉄くずを集めて、見たこともないような作品を生み出しました。これまでのあらゆる常識が覆されるような新しい美を創造したのです。なぜそんなことができたのでしょうか。それは、蒼風が決してあきらめなかったからです。人間の持つ可能性を信じ、自分自身を信じ、植物の力を信じていたからなのだと思います。皆さんはその蒼風の理念を受け継いでいます。草月は2年後に創流100周年を迎えます。こうして今日までたゆみなく前進を続けてきた草月を、ぜひ誇りに思ってください。

いつも申し上げていることですが、大きなことをやらなくてもいいのです。小さなことから、一歩ずつ、ひとつずつでいい。自分の環境の中で何ができるのか考えてみましょう。そして、そんな中でも、遊び心は忘れないようにしてください。少しでも前へ、明るい方向へと向かうこと。その小さな積み重ねが未来へと導いてくれるのではないのでしょうか。100周年は皆さん一人ひとりが創り出すものです。あの場に足を運んだ、あのイベントに参加した、あの花展に出品した……その行動や思いの一つひとつが、あなただけの

を取得された皆さまにステージにご登場いただきました。先ほど2階談話室で皆さんの初いけ作品を拝見しましたが、瑞々しい作品、ダイナミックな作品、繊細な作品から力強い作品まで、様々な力作が揃い、たいへん見応えがありました。

さて、昨年を振り返ると、本当に色々なことがありました。良いこと、嬉しいこと、楽しいこと、悲しいこと、残念なこと……皆さんそれぞれに思いがあると思います。中でも私が気になるのは、世界中で異常気象による自然災害が頻発していることです。今年も新年早々、アメリカのカリフォルニア州で大規模な山火事が起きましたが、映像を見るだけで体が震えてしまうほどでした。あちらにも多くの草月の仲間がいます。どうぞ皆さんも一緒に無事を祈っていたければと思います。

また、自然災害だけでなく、人間の手で引き起こされたいくつもの紛争・戦争が世界各地で続いています。いつ何が起きてもおかしくない、ただ道を歩いているだけでも少し怖



Photo: Yoshitomo Tanaka

100周年を形づくっていくのです。すでに本部はもちろんのこと、支部で、社中で、個人で、100周年に向けて動き出しています。どんな形でもいいので、自ら動きながら、草月の一員としてこの記念すべき100周年をともに盛り上げていただきたいと思います。

(茜家元と迎える新年の会2025)での家元あいさつより)

100周年まで、あと2年！ 本年も、よろしくお願い申し上げます。

98th

98th



# 茜家元と迎える新年の会 2025



1.理事、顧問、4級師範昇格者のお披露目、そして親先生が登壇し、昇格を祝う紙吹雪が舞う。 2.昇格者によって、ばらがいけられた。 3.あいさつをする家元。 4.同日、2階談話室で行われた昇格者による初いけ。家元は一作ずつ講評し、エールを贈った。 5.ステージで披露された新春のいけばな作品。中央には「98th」の文字が。いよいよ100周年が2年後に迫る。 6.家元と座・草月による口上は今年も気合十分！ 7.家元による初いけデモンストレーション。悠々とした枝ぶりのしだれ桜、苔梅、ろうばい、ウィンターベリー、千両、そしてばらがいけられ、会場は春の香りに包まれた。

Photo: Yoshitomo Tanaka

7



4

2025年の幕開けを祝う「茜家元と迎える新年の会」が1月12日、草月ホールにて開催された。会場には満席の573名が集い、オンラインでも配信された。  
家元による初いけデモンストレーションと、理事、顧問、4級師範昇格者のお披露目、そして親先生の登壇と盛りだくさんの内容。2年後の100周年へ向けて一致団結するような構成となった。また冒頭には、新しく設けられた草月優秀賞の受賞作品が発表され、大いに盛り上がった。

5

6

# 勅使河原茜の花

Original Works by Akane Teshigahara



直線的に伸びる桃の枝をいかしながら、花材を面的に構成。  
3種の花材で色遊びを楽しみました。

花材: 桃、こでまり、ういぎょう 花器: 陶器花器 サイズ: 140×128×147cm



梅の枝ぶりは、大胆で格好よく、いつも惚れ惚れします。  
枝の動きを見極めながら、疎密で空間をつくりました。

花材: 梅、椿 花器: 陶器花器(加藤清之) サイズ: 150×154×147cm



たっぷり花を蓄えたぼけを折りだめし、左右へおおらかに伸びやかにいけました。  
そこに満開のミモザを降りかかるようにして、春の競演に。

花材：ぼけ、ミモザアカシア 花器：ガラス花器(岩田久利) サイズ：127×185×137cm

# 「立体造形」 とは？「最終回」

「いけばなは立体造形である」。この理念を構成する要素である「古典」「形」について考えてみましょう。

## 古典

たてばな(立花)、茶花、投入などの古典花。その精神的背景やそこから生まれた形。新しいものに積極的にある人ほど、古いものからとるべきものを取る。

草月初代家元・蒼風は、江戸初期の立花の名手・大住院以信のいけばなについて次のように述べています。

「私は立花が好きだから、立花のことはいつでもなんとなく気にしてきた。立花作者の中ではなんととっても大住院がいちばん立派で、この人の上にでる人はないこともたしかとおもう。」

大住院の立花をなまで見ることができないにきまっているが、古書や古巻の作品を現実に描き直して鑑賞することはできるが、実に色がいい。これが当時多くの立花好きをひきつける原因の一つで、もう一つは、なんといっても線の表現のうまいこととおもう。どの作品にもこれだとおもう線のねらいどころがちゃんとうかがわれる。

今大住院形を真似ていけることはなんでもないので、大住院の心になって、今日の大住院を考える作家が出なければだめとおもう。〔勅使河原蒼風と桃山の花——花の系譜I〕より〕

戦後、モダンないけばなで注目を浴びた蒼風ですが、あれだけ多様な作品を発表できたのは、植物そのものや古典の研究を積み重ねてきたからかもしれません。古典への理解をもち、取り入れる。新しいものとは、そのようにして生まれていくのではないのでしょうか。

「古いものに対する尊敬と理解を正しく強くもつ人ほど、古いものに

拘泥しない。新しいものに積極的である人ほど、古いものから取るべきものは取り、捨てるものは捨てて、単なる反逆をしたりすることはないだろう。〔勅使河原蒼風 花伝書〕より〕

最後に「形」についてです。

「いけるというのは、字に書いてみれば造形、変化する、といったことなのだ。」

いかに、造形たか、いかに変化したか、ということが問題なので、ここに急所といったようなものがある。いい花と、いい花瓶とがあれば、いいいけばなになるのではない。この理がわかれば、いけばな修業の目標も、きめることができるというものだ。〔勅使河原蒼風 花伝書〕より〕

いつも同じ「型」をいけるのではなく、素材や場に反応した「形」を造り出す。そして、その造形が説得力をもつことで感動が生まれるのです。

## 形

いかに自由に創るか。いかに造形たか、いかに変形たか。型の拘束を抜けだす。型ではなく、いつも多様に変化する形。素材や空間に対応して生まれ、消えてゆくもの。作者の個性や創造力の発揮。見る人に対する説得力。

草月いけばなは、時代や生活環境にマッチした新しいいけばなをめざして誕生し、時代とともに発展してきました。さらに芸術表現としてのいけばなの可能性を広げようと、第三代家元・宏は「いけばなは立体造形である」と提唱しました。植物の持つ可能性を最大限に広げながら、あらゆる場に、今という時代に生き生きと息づく花をいけていこう、という信念と願いが込められた言葉なのです。

2024年度のサブテーマ「いけばなは立体造形である」。立体造形の理念を構成する7つの要素「空間性」「行為」「現代性・創造性」「自然観」「素材」「古典」「形」を紐解きました。季刊『草月』2024冬号では「いけばなは立体造形である」を特集。より理解が深まる内容ですので、ぜひご覧ください。



草月会館の談話室にいた茜家元による作品。「草月のいけばながその場を飾るなら、美しいのはもちろんのこと、見た人に驚きや楽しさを感じてほしい」。美しさに遊び心をプラスするのが茜流。

Photo: Naoki Fujioka

香川県支部展



香川県支部のInstagram

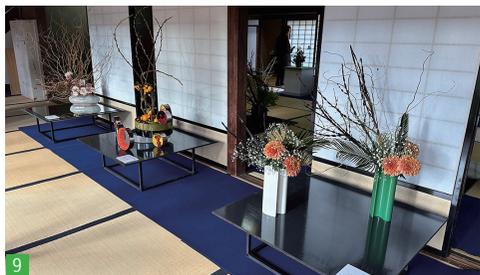
空間と語らう

11月30日・12月1日  
史跡高松城跡 玉藻公園 披雲閣

格式ある空間で

日本三大水城の一つと言われる高松城跡を整備した史跡高松城跡 玉藻公園にて、香川県支部展が開催された。草月は「いつでも、どこでも、だれにでも、そして、どのような素材を使ってもいける」流派。その魅力を表現すべく、香川県支部では毎回会場の形態を変更している。前回の支部展では、ひとつの空間に作品を集めて展示したが、今回選んだのは、部屋数が多く、各々が書院造様式になっている披雲閣。扱う素材を工夫しながら、個人作、合作他、屋外にも竹を使った支部合作を展示した。格式ある空間と真摯に向き合いながら、いけばなを通して新しい息吹を送り、現代に合う新しい空間を創出。来場者は歴史を感じながら、いけばなによって新たに彩られた披雲閣で、心静かに語らうひとときを楽しんだ。

- 1 3 支部合作。
- 2 関薫美支部長の作品。
- 4 本部講師の片山紅さんを  
いかけた支部会員有志の  
合作。メタリック書道液と和  
紙のふしぎな化学反応。
- 5 中田麗香県委員、西山  
麗千副支部長、岩田紅文  
さんによる合作。
- 6 徳田望花県委員の作品。
- 7 8 9 会場風景。



S Y C 東京 1

〔増上寺大殿ステージ舞台装飾〕  
2023年10月7日・8日  
増上寺

〔SYC東京1企画展「点々」〕  
2024年2月24日・25日  
White Gallery' Gallery KINGYO'

ギャラリーマルト

〔陶芸教室〕  
2024年5月25日  
T-BASE ARTS & CRAFTS



大舞台での制作に挑戦

第42回「みなと区民まつり」にて、増上寺大殿ステージの舞台装飾を行った。SYC東京1が、これほど大きな舞台で竹の大作を制作するのは初めて。事前に運営メンバーでデッサンや模型を作り、何度も打ち合わせを重ね、当日は草月アトリエやOB・OGの方々にもご協力いただきながら、無事に完成させることができました。私たちの作品の前でパフォーマンスが行われ、お客様が盛り上がりつつある姿を見て、感無量だった。



初の3会場での同時開催

White Galleryには台上がりと床上がりの作品16点、Gallery KINGYOには吊り花5点と合作、ギャラリーマルトには台上がりと床上がりの作品8点が並んだ。合作は前年に開催した空間構成の勉強会で学んだことをいかし、ストローを約4000本使用して制作した。スタンプリナー企画も行い、3会場すべて回った方には地元のお土産をプレゼント。関係者だけでなく、谷根千エリアの住民や観光客の方々にも多くご来場いただいた。



思っておもいの花器を制作

草月会館の造形教室で助手をされたいた陶芸家の藤村亮太さんにご指導いただき、花器を制作。ほとんどの参加者が陶芸初挑戦だったが、藤村さんや、T-BASE ARTS & CRAFTSのスタッフの方々に丁寧に教えていただき、それぞれ思っおもいの花器を自由に制作することができた。

SYC北海道 1

2024年8月18日  
円山陶房

花器について考える

SYC北海道1は、今年度も陶器花器を制作した。いつもお世話になっている札幌市の円山陶房にて、粘土3キロを使用して思い通りの花器を成形。何度か参加しているメンバーは、手が慣れすぎてからか、より複雑な造形のものを作成しようと果敢に挑戦した。陶芸の先生方には事前にデザイン画を見てもらい、作りたいもののイメージを伝えてはいたが、中にはより伝わりやすいように紙で模様を自作してくれるメンバーもあり、熱心に制作に臨んだ。

約1ヶ月後に器が完成。同じ粘土、同じ釉薬を使っているにもかかわらず、色合いが変わる様を楽しんだ。完成した花器に花をいけたり、次回作への改善点を考えたりしながら、メンバーそれぞれが花器について改めて考える機会となった。



SYC福岡

2024年12月8日  
HANA ART KATAYAMA マトリエ

水引細工に悪戦苦闘

水引細工のワークショップを開催。10名が参加した。以前太宰府などでも水引ワークショップを開催したことのある講師の大坪康さんより、基本となる「あわじ結び」を教えてください、まずは1本から練習、その後3本に増やし、応用となる「梅結び」にも挑戦。習得に時間がかかり、悪戦苦闘した。

迎えた本番では、好きな色の麻紐を3本選び、梅結びを作成。色選びやデザインなど、それぞれの個性が出た。その後、しめ飾りに水引細工をグルーガンで留める。30分時間を延長し、ようやく完成。1作ずつ壁にかけて撮影し、互いの作品を鑑賞し合った。



松江市民文化祭  
2023年11月3日～5日  
島根／松江テルサ  
島根県支部東ブロック



松江文化協会に加盟する文化団体のうち、絵画、書、写真等の13団体が参加。草月からは4名が出品した。

所沢並木地区文化祭  
2023年11月4日・5日  
埼玉(所沢市)／並木まちづくりセンター  
野中紫香



恒例の文化祭にて、芸能発表ホールへの入口に迎え花を展示。場が華やかになると好評で、記念撮影スポットとして人気。

すがも中山道菊まつり  
2023年11月6日～14日  
東京(豊島区)／眞性寺 阿弥陀堂  
映花会



大作と個人作で来場者の目を楽しませる。境内から阿弥陀堂内が、菊の香りでいっぱいとなった。

表彰式会場にいける  
2023年11月3日  
長野／須坂市文化会館メセナホール  
村石かず子・松澤芳美・黒岩千景



須坂市より依頼を受け、文化の日の表彰式会場に祝い花を制作。各方面からたいへん喜ばれ、好評だった。

周南文化協会設立20周年記念  
「周南市民芸術文化祭」  
2023年11月3日～5日  
山口／周南市文化会館 1階ロビー  
藤井苑幸



着色しだれぐわ、紅葉したどうだんつつじ等で迎え花を制作。華やかさと重厚感のある紅白の色彩で、20周年を祝った。

第12回新潟市華道協会華展  
2023年11月3日～5日  
新潟／NEXT21 1階アトリウム  
草月4名



新潟市古町地域において新潟市華道協会に加盟している11流派が展示。通行人も多い場所で、たくさんの方が楽しまれていた。

町田市民文化祭  
2023年11月2日～4日  
東京／町田市民ホール  
鈴木京泉・須山庸泉・本木京香 他1名



町田華道協会から草月は4名で出品。そてつを中心にした合作で、会場を華麗に彩った。

第72回県華道展  
2023年11月2日～5日  
徳島／あわぎんホール  
草月24名 写真左:山口智嘉、右:石川雅景



徳島華道連盟所属の15流派が出品。草月流からは前後期あわせて24名が出品し、秋のいけばなを楽しむ方々に賑わった。

第17回東北大学市民オープンキャンパス  
「紅葉の賀」  
2023年11月3日  
宮城(仙台市)／東北大学植物園 他  
丹野霞園・佐藤霞岳・佐藤霞虹



野点 俳句 弦楽四重奏等が催される会場にいけばなを初出展。自然の中で、しさを中心に紅葉をいかした作品に。

第31回名古屋いけばな芸術展

2023年10月24日～29日  
愛知／名古屋市民ギャラリー栄 8F展示室  
草月20名 写真左：竹口陽苑、右：丹羽真由帆



総合的な芸術の祭典として平成2年度より実施されている芸術祭。今回で34年目となる。226名が出品し、賑やかに開催された。

米子美術挿花連盟

2023年10月24日～11月1日  
鳥取／ANAクラウンプラザホテル米子  
草和会(渡辺優華・塚谷宏梢)



ホテルのロビーに各流派持ち回りでいけている。ホテルを利用なさる皆さまに喜んでいただいた。

倉元清花社中展 秋を奏でる

2023年10月27日～29日  
石川／能美市寺井地区公民館展示室  
倉元清花社中



会場全面を越前和紙で覆い、前面に白樺15本を立てて上部に鉄花器を設置。下は水面を楽しみながら、秋を奏でた。

第6回徳久星蘭社中展

2023年10月21日・22日  
神奈川／そごう横浜店9Fセンタープラザ  
徳久星蘭いけばな教室



公共スペースの一角で社中展を開催。地元のタウンニュース、ヤフーニュースにも掲載され、多方面から来場者があった。

第7回 草月会石川県支部八部会花展

2023年10月21日・22日  
石川／金沢市民芸術村 里山の家  
石川県支部 八部会



里山の家の間取りをいかして制作。震災の支援への感謝を表した「珠洲焼にける」や「SDGs」など、各々の思いを込めた。

長沼焼といけばな展

2023年10月21日～31日  
福島／須賀川市長沼図書館  
菅野草苑 他



地域に残る長沼焼の歴史と良さを再確認するための展覧会。季節ごとに開催され、図書館を訪れる方々にご覧いただいている。

花と器展 生け手の美 作り手の美

2023年10月20日～22日  
石川／めん房つつる(松任店・御経塚店)  
栄波いけばな教室



恒例となっている発表会で、各々が緑色塊を意識して制作。来場者もさらに増え、お店の方々にも喜ばれた。

屏風ヶ浦夕波まつり

2023年10月21日  
香川(仲多度郡)／屏風ヶ浦海岸寺  
香川県支部



空海生誕1250年の祭りに「屏風ヶ浦夕波ブリッジ」を建てることになり、それに寄り添う竹の大作を依頼され、好評だった。

第一グループ展「華・時を彩る」

2023年10月21日・22日  
新潟／ホテルイタリア軒  
新潟県支部 第一グループ



「植物表現で、いけばな」という言葉を越えたコミュニケーションとして、新しい空間を多くの方々にご鑑賞いただいた。

第16回アートフルゆめまつり

2023年11月1日～5日  
埼玉／そな銀行 大宮支店 ロビー  
ぐるーぷコボ



大宮駅東口市街一帯のアートでの活性化を目指す祭りに参加。竹ひごを思いおもいに着色し、つるうめもどきで力強い作品に。

文化交流会～生け花教室～

2023年11月2日  
広島／福山市鞆交流館  
指導：府木久香



国際交流団体フレンドシップフォース広島が交流事業として、スイスからの訪問団に日本文化の体験等を実施。好評だった。

まるがめ文化芸術祭

2023年11月2日・3日  
香川／丸亀市生涯学習センター  
草月8名 写真左：沼田広菜、右：込山広佳



師範以上または同等の方々が出品資格をもつ花展。季節の花が色とりどりに並び、個性豊かな草月の特徴が際立っていた。

山口市民文化祭

2023年10月28日・29日  
山口市民会館 展示ホール  
草月6名 写真左：田村明苑、右：武林英悠



様々な分野の文化団体が一堂に会する市民文化祭に出品。多くの方々が作品を楽しまれていた。

落語会を秋の花で彩る

2023年10月29日  
千葉(流山市)／一茶双樹記念館  
諸岡朝昂・珍田朝華



和室の襖をはずして大広間とし、高座を設営した会場に秋の花をいける。「高座が明るくなった」等、好評だった。

草の器×いけばな

2023年10月31日～11月5日  
宮城(仙台市)／東北電力グリーンプラザ  
グループ花楽(岩佐清芳社中)



いけばなの魅力をどう表現し、どう伝えていくべきかを追求している。今回は草で創った器と植物の出会いを表現した。

第5回 耀の会いけばな展 一思いをのせてー

2023年10月28日・29日  
富山／KNB入船別館  
富山県支部 耀の会



草月WESTで受講した公開講座から刺激を受け、様々な素材を使った立体造形を制作。写真は会場入口の合作。

令和5年度行徳公民館文化祭

2023年10月28日・29日  
千葉(市川市)／行徳公民館  
鈴木会



4年ぶりの開催となった文化祭「秋の彩り」に「秋を満喫」をいた作品は大好評花を通じて心とむ時間となった。

墨水会学書展に迎え花

2023年10月28日・29日  
岐阜／多治見市市之倉公民館  
古田静波



今回も学書展に迎え花を制作。書の内容をいけばなで彩り、93歳の先生にたいへん喜ばれた。

和田紗香グループ  
—小さいいけばな展—

2023年10月14日・15日  
愛知/名古屋ハウジングセンター  
和田紗香グループ



建築会社のモデルハウスにいける(写真左: 和田紗香、右:中村香子・前田紗洋)。会場側から驚かれるほど、多くのお客様が訪れた。

花のあり方

2023年10月14日・15日  
ハンガリー/ Botanical Garden, Budapest  
Judit Varhelyi 水晶・Mina Kadowaki Sebok・John McDonald



ハンガリーの草月会員が紅葉の美しさを伝えることをテーマに、植物園内で展示会を開催した。

香川発! 伝統と現代をしつらえる

2023年10月14日・15日  
香川/史跡高松城跡玉藻公園  
岡本麗弘社中



テーマは「花とオブジェである」。鉄のオブジェを使っていった。「心が安らぎました」と声をかけてくださる方も。

秋の各流いけばな展

2023年10月11日～15日  
鹿児島/山形屋文化ホール  
草月9名



暑い日が続き、ようやく来た秋への思いを、涼しい風とともに現れた草木や木の実、秋色の木の葉等で表現した。

国連国際高齢者デーを祝して

2023年10月13日  
ニュージーランド/Epsom Library  
村上桂泉



国連国際高齢者デーを祝い、図書館でいけばなを紹介。体験教室では花型法にも挑戦。花に触れ、楽しんでいた。

第73回岐阜県華道連盟 秋のいけ花展

2023年10月13日～18日  
岐阜シティ・タワー43  
草月18名 写真左:遠藤尚芳、右:中島舟白



駅で隣接している商業施設内で開催するのは初。「ここに来て秋を感じることができました」との声がたくさん聞かれた。

花と和紙展

2023年10月8日～22日  
徳島(美馬市)/藍商佐直 吉田家住宅  
出村丹雅草グループ



2900名以上が来場し、連日賑わった。同じ植物でありながら形を変えての融合が違和感なく表現され、好評を得た。

報恩講にいける

2023年10月10日・11日  
新潟(長岡市)/唯敬寺  
グループ 遊



お寺の報恩講にて。保育園児たちに花を入れて楽しんでもらい、華やかな秋を演出した。

パリで子どもいけばな

2023年10月11日  
フランス/文化教養学園幼稚園パリエ  
指導:石田春草



パリの日本人幼稚園で園児にいけばなを楽しんでもらう。牛乳やジュースの容器に、公園で拾った素材なども使った。

第22回フェスティバルーん

2023年10月19日・20日  
東京(港区)/生涯学習センター(ばるーん)  
英会



会場である生涯学習センターの開設25周年に参加。英会で1階と2階を華やかに彩った。

いけばな大阪展

2023年10月19日～24日  
大阪/あべのハルカス近鉄本店 近鉄アート館  
草月19名



出品者・入場者数ともにコロナ禍前に戻り、盛会となった。写真は岡本青珠さんら6名による合作。

第61回広島いけばな代表作家展

2023年10月19日～24日  
広島/福屋八丁堀本店 8階催場  
草月30名 写真作品:高橋篁赫・植田鈴紅



県内12流派が計153点を展示。中国新聞社主催の伝統ある諸流派展だが、残念ながら今回をもって終了となった。

場にいける

2023年10月15日～20日  
北海道(札幌市)/ネットヨタ町店  
濱林涼明



トヨタの販売店にいける。黒の車とももげいとうの赤紫色を対比させ、個性的な作品にした。

スノーフラワーいけばな展

2023年10月16日・17日  
千葉(市川市)/スノーフラワー妙典教室  
草月7名(主催:堀江祥雪)



今回はちょうちんひごで作った作品を黒幕一面に展示したり、連花や天井から作品を吊るしたりと、いつもとひと味違う展示に。

第60回全道いけ花美術展

2023年10月18日～23日  
北海道/丸井今井札幌本店  
写真作品:福島涼苑



藤づるの流れるような力強い動きをいかしたダイナミックな作品が、来場者の目を引いた。

高津区文化祭いけばな展 迎え花

2023年10月14日・15日  
神奈川(川崎市)/高津市民館  
草月11名



川崎市高津区文化協会主催の展示会で迎え花(写真:斎藤隆信・月本貞静・福島倅静)を制作。来館者の心を和ませた。

岩手県公会堂文化祭にいける

2023年10月14日・15日  
岩手(盛岡市)/岩手県公会堂  
岩手県支部 奇樹の会



「小さな小さないけばな展」。来場者にミニチュア花器にいけてもらう試みも好評だった。県知事のご来場も賜り、賑わった。

花を愛する仲間たちいけばな展 「花の優しさ」

2023年10月14日・15日  
三重/鈴鹿医療科学大学付属 桜の森病院  
花を愛する仲間たち(三重県支部有志10名)



花の優しさを患者様に感じていただこうと、緩和ケアの病院で花展を開催。笑顔になる瞬間に出会い、喜びを感じた。

● 学校いけばな

白梅祭

長野女子高等学校  
指導：山崎恵美子

2024  
7/13  
～14



文化祭での華道展示。女子高の1000年を振り返るコーナーでは、懐かしい華道授業風景も紹介され、歴代の先生方の華道指導に思いを馳せました。

三高文化祭

岩手県立盛岡第三高等学校  
指導：古館紫映・小原瞳泉

2024  
8/30  
～31



個人作品、合作とも、各々の個性を發揮しました。合同作品のテーマは「ラブリッツェル」で、ドレスや作品のイメージカラーを取り入れ、ライトアップも。

入学式に寄せて

石川県立金沢西高等学校  
指導：森光和

2024  
4/8



入学式の会場への渡り廊下で、部員が一人ずつ順番に2、3本の花木を挿して作品を制作しました。生徒、保護者、職員の方々にたいへん喜ばれました。

5年ぶりのステージ花

広島／府中町立府中緑ヶ丘中学校  
指導：高橋陽春

2024  
4/8



コロナ禍が落ち着き、5年ぶりに華道部が入学式ステージのいけばなを担当。八重桜をメインに制作。部員たちは初めての大きないけばなに大感激の様子でした。

割竹の球体

京都／同志社女子大学  
指導：石走俊桂

2023  
11/8

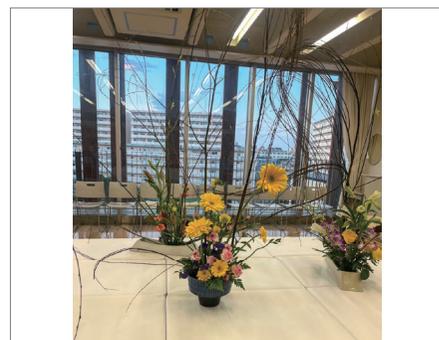


新春懇親会福袋の「アトリエ半日派遣」を利用。割竹の球体を制作指導いただきました。きれいに仕上がり大満足。作品は後日学祭などで活用しました。

文化祭

福岡／中村学園女子高等学校  
指導：重田青嶺

2024  
3/16  
～17



今回の文化祭では、個性をいかしながら各々の作品を完成させた後、しだれ柳でそれぞれを繋げ、会場いっぱいの大作を作ることを楽しみました。

和 文化祭～日本の文化を体験しよう～

2023年10月7日・8日  
新潟市民プラザ  
草月竹あかり花あかりコラボレーションチーム



華道、茶道、琴の演奏、民謡と、ひとつの会場で見えて、聞いて、体験しながら色々な日本の伝統文化を紹介した。

松江華道連盟 いけばな展

2023年10月7日・8日  
島根(松江市)／島根県民会館  
島根県支部東ブロック



4流派が加盟する松江華道連盟のいけばな展。草月からは12名が参加し、小品12点、合作の大作1点を出品した。

スピーチコンテスト演台にいける

2023年10月8日  
新潟／アオーレ長岡  
高木双葵



スピーチコンテストの出場者にも花を入れてもらって、作品が完成。華やかになった舞台上で講演が行われた。

京王プラザホテル札幌 ロビー花

2023年10月1日～31日  
北海道／京王プラザホテル札幌  
北海道支部



1ヶ月間、ホテルのロビー花を支部で担当。観光シーズンでもあり、海外の旅行客からたいへん好評いただいた。

加西市シニアクラブ連合会文化祭

2023年10月6日～8日  
兵庫／アステアかささぎ  
大橋義延



黒竹で構成。2回にわたって手直しを行った。途中でコスモスとマリーゴールドを加え、変化をつけた。

'23年(第35回)草月流勉強会

2023年10月6日～18日  
東京(足立区)／よみうりカルチャー北千住  
指導：山田翠



「人に見せる」「場を考える」をふまえながら、廃棄物を利用して造形。年々アイデアの進歩が感じられる。

建長寺4.8アートプロジェクト vol.1

2022年4月8日～10日  
神奈川(鎌倉市)／建長寺 龍王殿  
上原瑞光



染織作家の関水美穂氏と共に龍王殿に献花を行った。毒蛇を食べるといわれるくじやくの羽根を素材に使用。

駅を彩る

2022年10月1日～31日  
宮崎／JR日豊本線佐土原駅構内  
前期(左):樋口南草、後期(右):坂元清草



(前期)自作花器に着色藤づる等合わせ、楽しく軽やかな作品に。(後期)駅の利用者のひとときの癒やしになるように。

パラオに桜を咲かせましょう

2023年3月6日～14日  
パラオ共和国  
横井紅炎



日本文化をパラオに紹介する企画。今回はコロナ禍を経て4年ぶり、6回目の開催となった。桜花ライプを上演。

## 草月 × 日本茜プロジェクト

No.6

### 家元再び美山町へ

昨年12月6日、家元が再び京都府南丹市美山町の「美しい山の草木舎」を訪れ、5月に植えた日本茜の成長を確認しました。この畑の日本茜の根が染料の素材となるのは次の冬。関係者の皆さんによるたくさんの方の思いに支えられて、草月の日本茜は順調に成長しています。

### 茜染体験

そして今回、美山町を訪れたのはもう一つ目的があります。それは茜染体験です。本プロジェクトにご協力いただいている一般社団法人日本茜伝承プロジェクトの皆さんが以前に植えた日本茜の根を使って、実際にどのように布や糸を染め上げていくのか、その工程を学びました。

時間の関係上、あらかじめ根から抽出した染液をご準備いただきました。抽出した染液を70℃ほどの温度に保ち、布や糸を浸して染色していきます。ムラにならないようゆらゆらと動かしながら浸しま

す。染、媒染、水洗いを2回、3回と繰り返したり、染色時間を変えたりすることで微妙に変化した茜色に染めることができます。また、より鮮やかな茜色に染め上げるには根の量もポイントとのこと。

こうして染め上げた布や糸の美しさは写真や言葉では伝えきれないほど。布の素材や織り方の違いによっても染まる色が変わるといいます。今後は、草月が植えた日本茜の根で染色を予定しています。どんな生地がどんな色に染まるのか楽しみですね。

### 茜家元より

つい先日、染め上がった糸と布が3種類ずつ届きました！

染色時間を変えることで生まれる濃淡のグラデーションがほんとうに美しく清々しく、まさに夜明けの空を染めていく茜色。創流100周年に向けて、この茜色をどのようなかたちにしてお披露目できるのか、色々な方と相談しながら胸を躍らせています。どうぞ、楽しみにしていってください！



美山で行われた家元の茜染体験。美しい色合いに感動！

### プレミアムな会

プレミアムデモンストレーション  
「茜の部屋 Part 2」

2024年11月23日  
草月会館2階談話室

茜家元と触れ合える特別なイベント「茜の部屋」が開催された。2回目となる今回の会場には、第二代家元・霞による絵画や、第三代家元・宏の陶器、茜家元によるペインティング、勅使河原家の思い出の写真などが展示された。

アットホームな雰囲気の中、茜家元は参加者によって選ばれた花材と花器を使って、サブライズのデモンストレーションを披露。また、事前に用意したテーマでトークを楽しむなど、盛りだくさんの内容となった。



家元によるデモ作品と、ペインティング作品。そして家族との思い出の写真が並ぶ。

### 「華道」が登録無形文化財に

2024年12月16日の「官報」号外290号において、文部科学省告示第173号として華道が無形文化財に登録され、日本いけばな伝統文化協会が保持団体として認定されたことが告示されました。



### 幸を願う強い思い

いけばなインターナショナル  
フェア2024

2024年12月10日  
ロイヤルパークホテル

ロイヤルパークホテルにて、「いけばなインターナショナルフェア2024」が開催された。各流派の作品が展示される中、草月流は本部講師の粕谷星華さんが代筆を務め、実りへの感謝と新たな希望をいぎりに託し、流木で力強さを表現。「幸を願う強い思い」が作品に込められた。

### 夜の公園美術館

高橋是清翁記念公園ライトアップ  
イベント「夜の公園美術館」

2024年11月28日〜12月1日  
高橋是清翁記念公園

高橋是清翁記念公園にてライトアップイベントが開催された。今回は「夜の公園美術館」と銘打ち、内容も更に充実。草月からは本部家元教室の講師助手チームが参加し、公園で伐採した桜と竹を使った作品「Floating Dreams」を制作。秋の紅葉とともにライトアップされ、訪れる人を楽しませた。

# 花に感謝の日

## 初の最優秀賞に輝くのは――

### 草月最優秀賞 ノミネート作品

113 作のエントリーより、以下の 21 作がノミネートされています。  
この中より栄えある「草月最優秀賞」が花に感謝の日で発表されます。

展覧会タイトル	代表者・グループ名	開催地
令和6年度 草月流松花会 55周年花展“翔”	松花会	石川県
日本への修学旅行出発前草月いけばな体験ワークショップ	Cheng 陽来、村上桂泉	ニュージールランド
燦桃花―百年に思いを馳せて桃の季節に贈ります―	中島杏翠、山田幸泉、吉岡幸茂	山梨県
いけばな草月 花 LIVE IN SAPPORO	いけばな草月札幌花 LIVE グループ	北海道
草月流いけばな五人展 旅と花の力 加賀百万石編 THE POWER of TRAVEL and FLOWERS	杉本青門、相澤喜雲、大澤秀紅、筋野美紅、野村浩秋	石川県
草月流いけばな 井上佐芳社中展 「花遊び」	井上佐芳	高知県
The first workshop on Renka in Finland organized by Liisa Nurminen 蘭加 and her Ranka group. フィンランドで連花 ワークショップ 草月蘭加グループ (フィンランド)	Liisa Nurminen 蘭加	フィンランド
第73回南高祭華道部 “星降る夜に願いを乗せて”	札幌南高等学校華道部	北海道
アートタウン八尾く WABI めぐり 2024 >花のプロムナード	グループ真夢	富山県
講の会 2024 年活動報告～いけばなに今できること (草月流) 佐田富 紅輝 いけばな展 =My Style =	講の会 佐田富紅輝	富山県
Team Albero 「Ikebana Creation」	Team Albero	富山県
第30回長崎原爆資料館献花	草月会長崎県支部有志一同	長崎県
Beyond the Horizon - Sogetsu Ikebana exhibition by my students(Renu Sensei) displaying larger installations	Renu Saraf	インド
上田嶺和社中展 「詩うII」	上田嶺和	石川県
能登で生きる・花のチカラを信じて	角翠瑛	石川県
暁春教室花展	吳暁春	中国
ヘルスケアアート HEALTHCARE ART : 草月流造形作品を医療施設に通年展示	F.M.U. Flower Meets You~ あなたに寄り添う花	神奈川県
文化服装学院での特別講義と「文化祭 2024」のインスタレーション作品制作	大園彩芳	東京都
連花 あそぼう 2 れんか れんか れんか れんか	北村青霞	東京都
JAPAN WEEK ~多様性と世界平和への願い (A wish for diversity society and world peace) ~	仲西雅巧草	大分県

本年度より、国内外のいけばな展や活動から選ばれる新しい賞が設けられました。  
最も輝く最優秀賞受賞の瞬間を目撃しませんか？ どなたでも観覧可能です。  
ぜひオンラインでもご視聴ください。詳しくはホームページへ。

# 3.28(金) 13:30-16:30 草月ホール

※終了時間は変更になる可能性があります。

お問合わせ【総務部】 TEL : 03-3408-1154 / FAX : 03-3405-4947 / E-mail : somu@sogetsu.or.jp

草月文化活動支援基金への  
ご協力ありがとうございます  
2024年11月～12月に当基金に  
寄せられた寄付金は、左記の通り  
です。(掲載は一万円以上、敬称略)  
草月会沖縄県支部、大澤秀紅社中一  
同、井上佐芳社中、齋藤瑛康、田所  
萩和、北海道支部オホーツク会75周  
年記念、小川李紅、草月会京都支  
部、草月会神奈川県支部、石井啓  
萩、山田幸泉、草月会東京西支部、  
福島光加と北のルビーの会一同、草  
月展合作1・日向洋一グループ参加  
者一同、後藤麗美・齋藤庭梨、いけ  
ばなグループ「ふあり」北村青霞、  
上田嶺和  
嬉しい受賞  
藤井苑幸さん(山口県周南市、師範  
会理事)は、華道の研鑽に努め、県内  
外で様々な賞を受賞したとして、周  
南文化協会より文化功労賞を授与  
されました。  
高野緑花さん(東京都東村山市、師  
範会理事)は、「第14回 躍動する現  
代作家展」にて、「躍動する現代作家  
賞(立休)」を受賞しました。  
草月会東京西支部は、永年にわたり  
植物発生材を活用した屋外いけば  
な作品の制作と展示イベントを開  
催し、公園の新たな魅力づくりと利  
用促進に取り組んだとして、一般財  
団法人公園財団より感謝状を授与  
されました。  
勝島恭華さん(山口県宇部市、2級

師範参与)は、宇部文化連盟功労者  
として表彰されました。

#### 計報

金子好子(霞絵) 東京都/理事  
二〇二四年四月十一日 享年八十五歳  
木高徳子(徳草) 千葉県/理事  
二〇二四年九月 享年八十四歳  
西村恵美子(星遊) 長崎県/顧問  
二〇二四年十一月十九日 享年九十二歳  
浦辺秀子(秀草) 神奈川県/理事  
二〇二四年十一月二十四日 享年八十一歳  
飯盛雅子(昭園) 福岡県/理事  
二〇二四年十一月十日 享年八十六歳  
重田明美(青嶺) 福岡県/理事  
二〇二四年十二月十三日 享年八十四歳  
竹内光子(光遙) 千葉県/顧問  
享年七十歳

#### 会員証がデジタルに

現在、国内の草月指導者連盟会員  
の皆さまに発行しております紙製  
の会員証は、2025年度より草  
月メンバーズサイトのデジタル会  
員証になります。この機会にぜひメ  
ンバーズサイトにアクセスを。

「お問合わせ」会員サービス部

TEL : 03-3408-1120

FAX : 03-3405-4947

E-mail : members@sogetsu.or.jp

## 動画配信「草月ってなんだろう？」

創流100周年にむけた特別企画、過去の草月をたどる「草月ってなんだろう？」動画シリーズは、  
昨年12月まで13本を配信してまいりました。  
「もう一度見たい!」「見逃してしまった」のお声にお応えし、期間限定で再配信いたします。  
この機会にお見逃しなく。

【受講対象者】草月を学んでいる方ならどなたでも  
【視聴方法】いけばな草月流ホームページにあるイベント⇒【「草月ってなんだろう?」】【特別配信】映像で知る  
草月 配信!】より、動画配信サイトへの入口はこちらをクリックし、レンタル購入のうえ、ご視聴ください。  
※メンバーズサイト内にある、動画配信サイトからご覧いただけます。

【視聴期間】2025年3月31日23:59まで  
【視聴料】各1,100円(税込)  
注意:以前購入した動画でも視聴するためには、再度購入が必要となります。予めご了承ください。  
【受講方法】2通りございます。

- ① 従来のメンバーズサイトからログイン※お手元にあるスタートガイド、または草月メンバーズサイトをご覧ください。
- ② 草月流ホームページから新たにログインし、公式ホームページより直接動画配信サイトに入れます。  
・初めての方は、無料会員登録からお願いします。  
・以前ご登録いただいていた方は、会員登録の必要はございません。  
ログインして、動画をレンタル視聴いただけます。※お支払いは、カード決済のほか、銀行振込、草月会館会員サー  
ビス部、草月WEST窓口でも可能です。カード決済以外の場合は入金処理まで1週間程かかることもあります  
ので、あらかじめご了承ください。

【お問合わせ】 事業課 TEL:03-3408-1156 / E-mail: kikaku@sogetsu.or.jp



※日程、講師は変更になることがあります。また、新型コロナウイルス感染症の影響や、天災及びその他不可抗力による事由により、開講を延期または中止する可能性があります。予めご了承ください。変更が生じた場合は随時告知いたしますので、草月流ホームページをご確認いただくか、教室運営課または草月WESTまでお問い合わせください。

**複数受講割引あり!**  
**家元研究科**

毎回テーマが設けられ、いけばなをさらに深く追究することを目標とします。感性と技術を磨く最高の勉強の場です。草指連会員の方なら、どなたでもご受講いただけます。複数受講割引もあり、より深く学ぶことができます。AT賞選考対象クラス。

入会金・再入会金が不要

	金	土	月	テーマ	講師
	14時/18時	10時30分/14時	10時30分/14時		
3月	21日	22日	24日	いけばなの方程式 有機—無機—有機	川名哲紀
4月	18日	19日	21日	調整中	小沢清香

●申込方法：新入会をご希望の方は、TEL・FAX・E-mailで事前にご連絡ください。毎月の受講は、日程・時間をご確認の上、ご来館ください。●受講料/家元：15,000円（花材費2把分込み。同月2回目以降は12,000円）/本部講師：13,000円（花材費2把分込み。同月2回目以降は10,000円）

**家元教室**

資格を問わず、どなたでもご参加いただけるいけばな教室です。ワンレッスン受講することもできます。

再入会金が不要

3月	火曜	4日	加藤久美子	11日	五十野雅峰	18日	坂口水恵
	木曜	6日	隅出美泉	13日	岡崎忍	27日	片山健
4月	火曜	8日	中村草山	15日	篠崎洵雅	22日	隅出美泉
	木曜	3日	五十野雅峰	10日	坂口水恵	17日	岡崎忍

●原則として6日間、第1・2・3火曜と木曜 ●10時30分/14時/18時（各日3回開講） ●入会金：11,000円 ●月謝（月3回分）：13,000円（花材費別2,000円/都度払い） ※証書申請可能。 ※再入会金無料。再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可（5,000円・花材費別2,000円/都度払い）。

**男子専科**

初心者からベテランまで、男性限定のいけばな教室。いけばな作家や男性指導者の育成をめざすクラス。随時受付。

再入会金が不要

3月	7日（金）	西山光沙	4月	4日（金）	西山光沙
	14日（金）	岡崎忍		16日（水）	岡崎忍
	26日（水）	岩淵幸霞		25日（金）	澤田晃映

●開催日は水曜1回、金曜2回 ●18時（受付：17時30分～19時30分） ●入会金：11,000円 ●月謝（月3回分）：13,000円（花材費別2,000円/都度払い） ※家元教室・家元研究科への振替ができます。 ※証書申請可能。 ※再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可（5,000円・花材費別2,000円/都度払い）。

**インターナショナルクラス**

外国の方々を対象としたクラスです。授業は英語で行われます。

3月	3日	福島光加	4月	7日	石川己青
	10日	石川己青		14日	福島光加
	17日	福島光加		21日	坂口水恵
	24日	福島光加		28日	高木水染
	31日	高木水染			

●毎週月曜日 ●10時30分～12時30分 ●受講料：7,000円/1回（花材費込み。月4回目以降は6,000円） ※証書申請可能。 ※祝日は休講となります。

**公開講座**

普段のお稽古ではなかなかチャレンジできない内容で創造性を大きく伸ばすチャンス！ 経験豊富な講師の講義で、知識と技の引き出しがさらに広がります。

受講日	テーマ	講師	内容
3月22日（土）	【いけばなは立体造形である】 スマホで簡単！ 画面映えるいけばな —写真作品を発信しよう—	 中村草山	写真だと平面的になりがちないけばな作品が、より立体的に見えるようないけばなを学びます。 写真の切り抜き、明るさの補正など、スマートフォンの機能を駆使すれば、友達へ送ったり、SNSで発表するための画面映える写真作品が作れます。 表現の幅を広げると共に、発信力を高めていきましょう。
4月19日（土）	—色— 茜家元は草月をどう進化させたか	 五十野雅峰	草月は型の継承ではない個性を大切に流した流派です。初代蒼風家元から茜家元まで、それぞれの家元が進化させてきたといってもよいでしょう。 茜家元は初めてテキストに「色」のテーマを入れ、作品の中でも様々な色使いで私たちを魅了しています。「自分の色」を模索し、それを紙や植物で表現してみましょう。 ※2025年度2回ご担当いただく1回目の授業となります。

●授業時間：10時30分～16時 ●受講料（材料費・昼食代込み）：15,000円。入会金なし ●申込資格：草指連会員 ●定員：40名 ●募集：随時受付中。郵便振替または会員サービス窓口でお申込みください。[郵便振替口座] 口座番号：00180-6-119808 / 加入者名：(一財)草月会 教室運営課 ※払込取扱票の通信欄に①受講希望日②草指連会員番号③名前④（お持ちの方は）メールアドレスをご記入ください。 ●申込締切：開催日の1週間前（ただし定員になり次第締め切り） ※お申込み後のキャンセル・ご返金はいたしかねます。 ※お申込み後でも、翌月以降（年度内）に振替受講が可能です。ご希望の方は、受講日の10日前までにご連絡ください。それ以降のご連絡の場合、実費（材料費および昼食代）をいただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

**2025年度「Teaching Ikebana in English」基礎科 Part I**

受講生大募集!!

受講日	講師	内容
4月から全8回 原則として月曜日 4/14、5/19、6/23、7/14、 9/1、10/6、11/10、 2026年2/2	 高木水染   福島光加	外国人への指導や海外でのワークショップ、デモンストレーションの経験豊かな高木水染、福島光加両師範による、英語での指導法を学ぶクラスです。 テキスト1・2から花型を学び、英語版草月五十則をひもときます。シンプルで解りやすい英語で、海外での実践的な指導を楽しく学びましょう。 これからの草月いけばなを支え、国際的なステージで活躍してゆく人材を育成いたします。 基礎科 Part I（1年間）・Part2（1年間）の二期制となります。

●授業時間：13時30分～16時30分 ●受講料：87,000円（分納可） ●申込資格：草指連会員で、日常英会話程度の英語力を有する方 ●定員：30名 ●申込締切：3月14日（金） ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどに、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号をご記入の上、「Teaching Ikebana in English 基礎科 Part I」受講希望の旨を、教室運営課までお知らせください。 ※基礎科 Part2 を修了されている方は、研究科をご受講になれます。ご希望の方はご連絡ください。

## 2025年度「伝承しよう！草月の技術と造形」

受講生を若干名募集します。

受講日	講師	内容
5月から全6回 原則として水曜日 5/14、7/9、9/17、 11/5、 2026年 2/18、3/4	 片山 健	<p>独創性を豊かにし、いける力を身につけよう！ いけばなの指導をする上で必要な知識、技術、心構えをお伝えします。 指導の難しさ、それは自分がいけることと人に教えることでは押さえるポイントが違うところ。花型のこと、留め方、季節の花材や草月五十則・花伝書についてなど、指導者の視点で学びましょう。いまさら聞けない疑問の解決、自信のなかった箇所の復習、さらに「草月のいけばな5」の内容まで、丁寧に解説いたします。たしかな技術と独創性を備えた指導者を目指して一步を踏み出しましょう。</p> <p>※すでに本講座にご在籍で、2025年度も継続受講をご希望の方は、継続申込書をご提出ください。</p>

●授業時間：11時～16時30分 ●受講料：95,000円（前期 47,500円 / 後期 47,500円。半期分納可。花材費・昼食代込み）●申込資格：草指連会員 ●定員：若干名（多数のお申込をいただいた場合は、抽選となります）●申込方法：はがき・FAX・E-mailに、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号⑤（お持ちの方は）メールアドレスをご記入の上、「伝承しよう！草月の技術と造形」受講希望の旨を教室運営課までお知らせください。●申込締切：3月14日（金）

## 2025年度「いけばな 今だから、造形花」第9期基礎科

9期生を募集します。  
2年に一度のチャンス。お見逃しなく!!

受講日	講師	内容
5月から全6回 原則として水曜日 5/21、7/23、9/17、 11/12、 2026年 1/21、3/11	 川名 哲紀	<p>3代家元勅使河原宏は、「いけばなは、植物を使った表現です。植物を立体的に構成しそれによってその空間を変貌させるものです。これこそが、いけばなの本質である」と訴えました。</p> <p>「今だから造形花」では、伝統や常識にとらわれず植物という天与の素材を、それぞれの創造力で生き生きと変化させ、さまざまな「場」に「造形花」を展開しながら、自らを表現できるクリエイターを育成する講座です。</p> <p>基礎科6回/1年を受講された方は、研究科6回/1年を受講することができます。</p>

●授業時間：11時～16時30分 ●受講料：95,000円（前期 47,500円 / 後期 47,500円。半期分納可。花材費・昼食代込み）●申込資格：草指連会員 ●定員：30名程度 ●申込方法：はがき・FAX・E-mailに、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号⑤（お持ちの方は）メールアドレスをご記入の上、「今だから、造形花」受講希望の旨を教室運営課までお知らせください。または右のQRからお申込みいただけます。●申込締切：5月7日（水）



## 第12回 AT賞展

2002年に茜家元の家元継承を記念し、家元のイニシャルより命名し創設された「AT賞」。家元研究科の在籍者の中から、最終選考を経た受賞者が研鑽の成果を発表します。

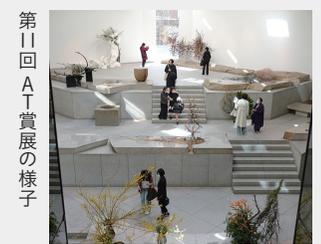
【日時】3月27日（木）・28日（金） 10時～17時

【会場】草月会館1階プラザ ※入場料無料

【出品者】第21回・第22回 AT賞受賞者

お問合わせ [ 教室運営課 ] TEL: 03-3408-1209 / FAX: 03-3405-4947

E-mail: kyoshitsu@sogetsu.or.jp



## 家元研究科

受講者自らの植物表現を追求し、感性と技術に磨きをかけるクラスです。新入会・再入会大歓迎。AT 賞選考対象クラス。

入会金・  
再入会金が不要

	金曜	土曜	テーマ	講師
	14時30分	10時30分 / 14時30分		
3月	14日	15日	「遊べ、もっと！」をもっと！	片山健
4月	18日	19日	妄想からはじまる ー表現は無限大∞ー	中田和子
5月	16日	17日	萬緑を見つめて	福島光加

●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●受講料（家元）：15,000円（花材費込み。同月2回目以降は12,000円） / （本部講師）：12,000円（花材費込み。同月2回目以降は9,000円）

## 家元教室

毎回テキストのテーマからの2作、講師のデモンストレーションがあります。たっぷり勉強できる充実の2時間。

再入会金が不要

3月	金曜	7日 中田和子	21日 岡本青珠	28日 石川己青
	土曜	8日 //	22日 //	29日 //
4月	金曜	4日 澤田晃映	11日 加藤久美子	25日 石川己青
	土曜	5日 //	12日 //	26日 //

●月3回 金曜・土曜 ●金曜（14時30分 / 18時30分）、土曜（10時30分 / 14時30分） ●入会金：11,000円 ●月謝：12,000円（月3回分。花材費別：1把900円）●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日時・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ※証書申請可能。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可能（5,000円。花材費別 / 都度払い）。 ※見学可能。

土曜日14時30分からの家元教室は、オンラインでも受講できます！

## 公開講座

ご希望のクラスを1回ごとにお申込みいただける魅力ある講座です。講師の個性がいかにされたテーマにチャレンジできます。ぜひご受講ください。

受講日	テーマ	講師	内容
2月19日（水）	メタリック書道液と和紙のふしぎからの立体造形へ	 片山 紅早	自分好みの色でメタリック書道液を作り、和紙との不思議なかかわりを体験します。さらに「いけばなは立体造形である」に展開して、植物との融合を楽しみましょう。
4月17日（木）	自分だけの「線」 ー線を極めるー	 森 彩琳	『花伝書』には、「色はひとりにて授かるものである。しかし、線と塊は自分で作らなければ授からないのだ。だから、この二つに打ち込んだらよいだろう。」とあります。その線と塊のうち、本講座では「線」にこだわって作品制作に取り組みます。まずは線を作るところから始め、作品における線の効果を学びます。自分だけの線、自分らしい線、自分にしか作れない線、そんな線を目指しましょう。

●授業時間：13時～16時 ●受講料：5,500円（教材費別） ●定員：20名 ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●申込締切：開催日の前々週の週末（ただし定員になり次第締め切ります）。

**受講生募集 テキスト集中講座 2025**

水曜日開催。お休みした回は、録画のオンライン配信でフォローします!!

草月いけばなのエッセンスが凝縮された草月カリキュラムを、楽しく集中して学ぶ、草月 WEST オリジナルの人気講座です。本講座ならではの個性あふれる講師陣も魅力です。ぜひこの機会に今一度テキストにチャレンジしてみませんか? 新規入会や継続の方もお待ちしております。

受講日 (年6回)	講師	内容
5月14日(水)	 坂口水恵	基本立真型 —「真」の角度を極める—
7月23日(水)	 岡崎 忍	「場」から考える描きいけ —着彩にも取り組もう!—
9月24日(水)	 澤田晃映	素材を見極める —植物と同じように異質素材に触れるには—
11月19日(水)	 岩淵幸霞	どうにかして「動き」を表現する!
2026年1月14日(水)	 隅出美泉	2026年、祝いの花・祝いの心 —いけるとき、教えるとき—
3月11日(水)	 加藤久美子	教科書を終えたら何するの? —複合テーマでもっと広がる世界—

●授業時間: 13時~16時 ●受講料: 45,000円(税込。教材費別。教材費はそのつどお支払いいただきます) ●申込資格: 草指連会員 ●申込方法: はがき・FAX・E-mailなどの書面で、名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ●申込締切: 4月30日(水)

**6月開講 プロフェッショナルクラス** | いけばな × アート

受講日・講師	内容
6月4日(水): 北山善夫(現代芸術家) 7月2日(水): 市村富美夫(染色家) 9月3日(水): 日向洋一(本部講師) 11月5日(水): 清水六兵衛(陶芸家)	関西教室でしか味わえない、いけばなとアートを繋ぐ歴史あるクラスです。毎年個性豊かな先生による趣向を凝らした授業は、造形性を養い表現にいたるまでの過程や、またはそのヒントを掴めることでしょう。造形的作品を追求される方は必修です! 遠方の方も、ぜひこの機会に草月WESTへお越しください。草月陶房での自作花器制作も含む、多種多様に贅沢なクラスです!

●授業時間: 10時30分~16時 ●受講料: 56,000円(4回分前納・昼食代込み・教材費別 ※11月5日は別途参加費が必要となります) ●申込資格: 草指連会員 ●定員: 20名 ●申込方法: はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ●申込締切: 5月10日(土)

**草月WESTオリジナルクラス 花の達人への道** | 5月開講! 受講生募集!!

「草月WEST」へ場を移し、さらに幅広く実践することができるようになった人気のクラスが、いよいよ12期目になります。『達人』への道を着々と歩んでいる方も、これから『達人』を目指して歩みはじめる方も、着実にステップアップできます。今回も、様々な“テーマ”からアプローチし、楽しく丁寧な指導による充実の授業内容です。年間6回、季節ごとに様々なテーマに取り組みます。

エスコートするのは、おなじみ片山健師範と杉岡宏美師範。リラックスした雰囲気の中、的確に導いてくださるお2人です。開講日も日曜日の午後。リピーターも多く、魅力ある講座です。もっと知りたいこと、もっと極めたいこと、ちょっと苦手なことにもチャレンジできます!! この機会に、思いきって参加してみませんか?



片山 健 杉岡宏美

受講日	講師	テーマ
5月18日(日)	片山 健	平面でいこう! 一机上で、床で、壁面で—
7月13日(日)	杉岡宏美	写真映えする花 ゲスト: 竹下光士氏(写真家)
9月7日(日)	片山 健	連花を嗜む
11月9日(日)	杉岡宏美	竹かご作りに挑戦!
2026年1月18日(日)	片山 健	松と組紐
3月15日(日)	片山 健・杉岡宏美	桜をいけよう! —ホテルエミオン京都で春を祝う—

すべて  
“日曜日”  
開催

●日時: 5月から年間6回コース/原則として日曜日開講 ●授業時間: 13時~16時 ●受講料: 77,000円(花材費込み。別途追加花材費を頂戴する場合がございます) ●受講資格: 草指連会員 ●定員: 40名 ●申込締切: 4月30日(水)(ただし定員になり次第締め切ります) ●申込方法: 窓口またははがき・FAX・E-mailなどの書面で、名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。

**—レッツ・トライ! デモンストレーション in 関西 二期生基礎科 卒業発表会—**

家元が直接指導する講座、「レッツ・トライ! デモンストレーション in 関西」の第二期卒業発表会を開催します。『後ろいけ』の技術を駆使していけばなの楽しさを伝えるデモンストレーション。この講座では、いける技術だけでなく、デモに欠かせない魅力的な話し方やしぐさも学んできました。これまでの研鑽の成果をぜひご覧ください!

前回の卒業発表会。



■日時: 3月20日(木・祝) 1組: 12時~ 2組: 13時~ 3組: 14時~ 4組: 15時~ ※それぞれ30~40分程度。14名が4つのグループに分かれてデモンストレーションを披露します。

■会場: 草月 WEST  
■料金: 無料(どなたでもご自由に観覧できます/途中入退場可)  
■総合監修/司会: 勅使河原茜家元

■出演(50音順): 一色美芳 大津蘭術 鐘築幸晴 川崎志乃 菊池冬純 國分晴遊 志賀秋桜 高塚倭萌 多田玲秋 長井保樹 平野博美 堀田丹順 松山秋喜 山岡美香

**—草月WEST家元教室いけばな展—**

ゴールデンウィーク恒例の「草月 WEST 家元教室いけばな展」を開催します! 草月 WEST 家元教室に通う生徒の皆さんが、日ごろの成果を発表するいけばな展です。関西の本部教室ならではの作品群に刺激をもらえること間違いなし!

前回の会場風景。



開催日: 4月28日(月)・29日(火・祝)

※出品者の募集は2月12日(水)開始。詳細は草月 WEST までお問い合わせください。

年間行事予定

2月27日(木)・28日(金)	草月職員・社員による、いけばな展 [草月会館1階プラザ] 27日:10時30分～20時/28日:10時30分～16時 [草月陶房] 10時～16時
2月28日(金)・3月1日(土)	草月職員・社員による、いけばな展 [草月WEST] 28日:10時～20時30分/3月1日:10時～16時30分
3月12日(水)～17日(月)	第63回いけばな協会展(新宿高島屋) ※家元通期出品
3月20日(木・祝)	レッツ・トライ!デモンストレーション in 関西 二期生基礎科 卒業発表会(草月WEST)
3月27日(木)・28日(金)	第12回AT賞展(草月会館1階プラザ/10時～17時)
3月28日(金)	財団理事会(草月会館)
3月28日(金)	花に感謝の日(草月会館)
4月2日(水)～8日(火)	華のおもてなし(日本橋高島屋S.C.) ※家元作品展示
4月25日(金)～28日(月)	第13回いけばな国際大会2025 ※草月流デモンストレーションは4月27日、展覧会は4月26日・27日
4月28日(月)・29日(火・祝)	草月WEST家元教室いけばな展(草月WEST)
5月21日(水)～26日(月)	第58回日本いけばな芸術展(日本橋高島屋S.C.) ※家元通期出品
5月30日(金)・31日(土)	全国支部長会議(草月会館)
6月11日(水)～26日(木)	初夏の草月いけばな展「花のメヌエット」(草月会館 2階談話室) ※詳しくは表紙裏をご覧ください

【草月会館土・日・祝日特別開館日】草月会館の特別開館日は、以下の通りです。その他の土・日・祝日は、草月会館は休館しております。  
2月15日(土)、3月22日(土)、4月19日(土) ※草月WESTは月曜定休。臨時休業もありますので、お問い合わせください。

フラワーク

とらや赤坂本店	3階茶寮	2月	村田草紅	赤坂見附
		3月	相澤喜雲	
		4月	市川早苗	
ザ・キャピトルホテル東急	3階ロビー・1階エントランス	常設	座・草月	溜池山王・国会議事堂前
ホテルニューオータニ東京	ロビー階	～2月6日	久保島一超	赤坂見附・永田町・麹町
		2月8日～3月5日	五十野雅峰	
		3月7日～4月2日	日向洋一	
ホテルOMO3 東京赤坂	フロント	2月	村越大嶺	赤坂見附・赤坂
		3月	尾崎霞洋	
横浜ベイホテル東急	B1階神殿口・神殿前	常設	御手洗直己	みなとみらい・桜木町
ラフォーレ原宿 GR8	2.5階	常設	深澤隆行	明治神宮前・原宿
ホテルエミオン京都	3階ロビー	常設	京都支部	梅小路京都西
	笹屋伊織 別邸	常設	草月WEST	
草月会館日本間 開場時間:初日は午後から、最終日は午前中まで		2月3日～15日	福島光加	青山一丁目
		2月17日～28日	大久保雅永	
		3月3日～14日	塚本草昌	
		3月17日～28日	江口玉枝	
		3月31日～4月11日	武藤星芳	

本部主催支部研究会・講習会

徳島県支部	2月2日(日)	研究会 ふれあい健康館	林春麗	☎ 088-678-2778
岡山県支部	2月2日(日)	研究会 倉敷市芸文館	伊達香貴	☎ 090-2290-8219
京都支部	2月9日(日)	研究会 草月WEST	岡慶民	☎ 0774-53-7646
大分県支部	2月16日(日)	研究会 J:COM ホルトホール大分	守田芳伸	☎ 0977-66-1311
東京西支部	2月23日(日・祝)	研究会 草月会館5階教室	樋口翠翔	☎ 042-576-6350
石川県支部	4月13日(日)	講習会 石川県女性センター	岡部弘邦	☎ 0767-28-2844
茨城県支部	4月13日(日)	講習会 ワークプラザ勝田	中島薫風	☎ 090-4759-8846
山形県支部	5月18日(日)	研究会 山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング	土田紫蘭	☎ 0234-24-9148
静岡県支部	5月18日(日)	講習会 三嶋大社 社務所(家元指導)	松尾遊波	☎ 055-987-0235

支部展

滋賀県支部展 「草月流いけばな展 ～心をつなぐ♡輪のハーモニー～」	3月7日(金)・8日(土)	草津市立 水生植物公園みずの森	井入愛華	☎ 077-585-2013
東京西支部展 ※家元出品	5月9日(金)～11日(日)	国営昭和記念公園 花みどり文化センター	樋口翠翔	☎ 042-576-6350

各地の展覧会

Reunion ~Let's FLY~ (レッツ・トライ・デモンストレーション10期)	2月14日(金)・15日(土) 草月会館談話室	市川愛霞	loveichikawa@gmail.com
黄 志庭個展	2月14日(金)～16日(日) 芸術新聞・罐空間(台湾・台北市)	岩田ひろ志	☎ 03-5925-8786
下村順子陶展「空ゆく舟」(添え花)	2月21日(金)～25日(火) T-BOX (東京都中央区)	播野華翠	asaharino@gmail.com
SYC東京1企画展「よりみち」	2月22日(土)～23日(日・祝) BONUS TRACK(東京都世田谷区) ※施設内のGALLERYおよびHOUSEにて開催	橋本佳蘭	karan@ymail.ne.jp
第35回ぐるーぷ紅の会 いけばな展	2月23日(日・祝)・24日(月・休) やねのっぽうホール豊川(プリオ5階)	西尾有浩	☎ 0533-84-2106
レッツ・トライ!デモンストレーションin関西 1期生【KARAKU】いけばなLIVE vol.2 いけばな草月流×No.11メロオンセー ーtiny desk Ikebana with 紀州スターチスー	2月24日(月・休) 12時開場 16時閉場 デモ 1部 13時～ 2部 14時30分～ カフェバーNo.11メロオンセ(和歌山市) ※要入場料(1ドリンク付き) 高校生以下無料	仁儀董宵	☎ 090-7117-8945
稗田社中展 「草木萌動(そうもくめばえいずる)」	3月1日(土)・2日(日) かわべ美術 (東京都中央区)	稗田紫玉	☎ 090-4937-6909
「花散歩 VI 2025」K-スタジオの仲間たち	3月15日(土)・16日(日) 札幌市民交流プラザSCARTSスタジオ	金井恵秋	☎ 080-5742-8689
からんとそーじゅーのふたり展ぱーと3 びゅんびゅんふわふわ	4月11日(金)～15日(火) TERRITORY GALLERY(東京都渋谷区)	橋本佳蘭	karan@ymail.ne.jp

カレンダーに掲載されているイベントは内容が変更になる場合がございます。本部にお届け済みのイベントが中止または延期となった場合は、出版部 編集制作室までご報告くださいますようお願い申し上げます。

【ご注意ください】「各地の展覧会」掲載ご希望の方へ

- ・出版部 編集制作室まで、E-mail、FAX、郵送にて必要事項(下記)をお知らせください。
- イベント名 ●開催日時 ●会場 ●開催趣旨(個展、社中展等) ●問い合わせ先のお名前、電話番号またはメールアドレス
- ・不達による掲載漏れを防ぐため、FAX、郵送の場合は、送付後必ず確認のお電話をいただきますようお願いいたします。
- E-mailの場合は、こちらより受領確認のメールを差し上げております(確認メールが届かない場合はお問い合わせください)。
- [ 出版部 編集制作室 ] TEL:03-3408-1158 / FAX:03-3405-4947 / E-mail:info@sogetsu.or.jp / 〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21